

今日もあなたのそばに。明日もあなたのために。

デュポン通信

2013.8
Vol.31

プレバソン®フロアブル5の定植5～3日前のセルトレイ灌注処理で、しっかり吸収、安定した効果！

今年は多くの地域で、平年より6～15日も早く梅雨が明けました。梅雨明け後は夏本番となり、地域によっては厳しい暑さと少雨による土壤の乾燥が続くことがあります。

厳しい気象条件においてもプレバソン®フロアブル5の苗灌注処理での効果を安定させるためには、定植前の苗体に有効成分を十分に吸収しておくことがポイントです。(図1)特に、定植5～3日前に灌注処理することが長く効かせるポイントになります。(図2)

ハクサイのように葉が横に広がりやすい作物では、定植3日前ではセルトレイの培土が見えなくなり、灌注ムラにつながる恐れがありますので、定植5日前での処理をお勧めします。プレバソン®フロアブル5は定植5日前の処理でも適用作物の苗に安全性が高く、薬害の事例はありません。また、定植3日分の苗を一度に処理することができ、作業の省力化にもつながりますので、是非お試しください。

図1 灌注処理のポイント

- ① 根からたっぷり吸収させる
- ② 展着剤は入れない
- ③ 定植5～3日前の処理が効果的！
- ④ 適度な水分を含んだ培土で処理



図2 灌注処理のタイミング

●本圖で長く効果を発揮させるためには、**定植5～3日前**の処理をお勧めします。

[例] 育苗期間が20日間の場合



●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

デュポン株式会社 農業製品事業部

FAX 03-3549-1819 e-mail news@dupont-info.jp

〒104-0045東京都中央区築地3-7-10 JS築地ビル5F

※情報提供の目的でダイレクトメールを送信しております。発送、および内容に関するお問合せは、上記問合せ先(デュポン農業製品事業部センター)までお願いします。